

2013 年度大学院生の経済実態に関するアンケート調査

全国の大学院生の皆様

お忙しい中、本アンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

1. 本アンケート調査の趣旨

本調査は、全国大学院生協議会（全院協）が、全国各大学の加盟院生協議会・自治会の協力の下に実施する、全国規模のアンケート調査です。本調査は、大学院生の経済実態を客観的に把握し、もって大学院生の研究及び生活諸条件の向上に資する目的で行なわれるものです。

全院協は2004年度以来毎年アンケート調査を行ない、調査結果を『報告書』としてまとめ、広く社会に公表しています。その結果は、全院協のウェブサイトでご覧いただけます。また、私たち全院協は、この調査結果をもとに、文部科学省、財務省、国会議員および主要政党に対して、学費値下げや奨学金政策の拡充などの要請を行ないました。こうした取り組みは、NHK や東京新聞をはじめとした各種マスメディアからも注目され、取材を受けております。

日本における大学院生の実態の全国的な調査は、全院協以外では行われておりません。より多くの方々に回答いただき、調査の精度を高めていくことが求められております。ご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2. 個人情報の保護

本アンケート調査で得られた情報は、以上に述べた目的以外に使用されることはありません。また、個人が特定される形で調査結果をまとめることはありません。回収された調査票は、調査結果がまとめられた段階で完全に廃棄されます。

3. 調査票への記入の仕方

- ・ 本調査票はこのページを含め、計8ページあります。
- ・ 設問はすべて該当番号の選択式となっています。該当する番号に○を記入してください。
- ・ 質問項目の右脇に「複数回答可」と、特に注意がある場合を除き、1つだけ該当番号を選んで回答してください。
- ・ 専門大学院やPDは、実態に合わない質問項目も多く答えづらいところもあるかと思いますが、今後のためにも答えられる部分だけでも、お答えいただけますようお願いいたします。

2013 年 全国大学院生協議会

〒186-0004 東京都国立市中 2-1 一橋大学内院生自治会室気付

電話・FAX：042-577-5679

E-mail:zeninkyo-jimu-owner@yahogroups.jp

全院協ブログ URL：http://www3.atword.jp/zeninkyo/

I 基礎調査

0. 所属大学院

所属大学院名.....【 】

1. 基本属性

1-1 性別

- ①男性 ②女性 ③その他

1-2 年齢

- ①20～24歳 ②25～29歳 ③30～34歳
④35～39歳 ⑤40歳以上

1-3 婚姻の別

- ①結婚していない ②結婚している
③事実婚

1-4 子どもの有無

- ①いる ②いない

1-5 学年

- ①M1 ②M2 ③OM ④D1 ⑤D2
⑥D3 ⑦OD ⑧PD

1-6 所属/受入大学・機関

- ①国立大学法人 ②公立 ③私立
④その他の機関など ⑤所属なし

1-7 学系

- ①人文科学系 ②社会科学系 ③理・工・農
学系 ④医・歯・薬学系 ⑤専門職大学院（ビ
ジネススクール、法科大学院、教職大学院など）
⑥その他（ ）

1-8 居住形態

- ①親や親戚など同居 ②一人暮らしで下宿
③学生寮 ④パートナーと同居
⑤友人など同居

- ⑥その他（ ）

1-9 国費留学生・私費留学生の別

※留学生の方のみ回答してください。

- ①国費留学生 ②私費留学生

1-10 あなたは社会人院生ですか。

※なおここで社会人院生とは、本業の仕事
を持っているか、本業の仕事を定年ある
いは早期退職した方が該当します。

- ①はい ②いいえ

1-11 大学院進学理由

- ①研究職を目指すため
②研究職は目指さないが、より専門的な研究を行う
ため
③専門職に就くための資格など勉強のため
④就職活動に満足できなかったため
⑤企業から派遣されたため
⑥その他（ ）

1-12 修了後の希望進路

- ①修士卒で就職（民間企業、公務員など）
②修士卒で就職（教員、法曹など専門職）
③博士卒で研究職（大学などのアカデミックポ
スト）
④博士卒で企業就職 ④未定
⑤その他（ ）

2. 収入・支出について

1ヶ月あたりの収入と支出について、おおよその平均額を教えてください

2-1 収入	2-2 支出
2-1-1 収入総額(奨学金借入も含める) ④ 6万円未満 ②9万円未満 ③12万円未満 ④15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上	2-2-1 支出総額 ①6万円未満 ②9万円未満 ③12万円未満 ⑤ 15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上
2-1-2 奨学金受給(借入・給付の総額) ①6万円未満 ②9万円未満 ③12万円未満 ④15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上 ⑦受給していない	2-2-2 家賃 ①3万円未満 ②6万円未満 ③9万円未満 ④12万円未満 ⑤15万円未満 ⑥15万円以上 ⑥ 払っていない
2-1-3 日本学術振興会特別研究員(学振) ①DC1 ②DC2 ③PD ④RPD ⑤受給していない	2-2-3 通学費 ①0.5万円未満 ②1万円未満 ③1.5万円未満 ④2万円未満 ⑤2.5万円未満 ⑥2.5万円以上 ⑦払っていない
2-1-4 科研費・プロジェクト的な研究費補助 ①3万円未満 ②7万円未満 ③11万円未満 ④11万円以上 ⑤受給していない	2-2-4 書籍費 ①1万円未満 ②2万円未満 ③3万円未満 ⑦ 4万円未満 ⑤5万円未満 ⑥5万円以上 ⑦払っていない
2-1-5 アルバイト収入 ※ <u>社会人における正規職の収入は除く</u> ①3万円未満 ②6万円未満 ③9万円未満 ④12万円未満 ⑤15万円未満 ⑥15万円以上 ⑦働いていない	2-2-5 調査研究費 ①1万円未満 ②2万円未満 ③3万円未満 ⑧ 4万円未満 ⑤5万円未満 ⑥5万円以上 ⑦払っていない
2-1-6 TA収入 (TA=ティーチング・アシスタント) ①1万円未満 ②3万円未満 ③5万円未満 ④9万円未満 ⑤12万円未満 ⑥12万円以上 ⑨ 働いていない	2-2-6 その他研究に関する自己負担 ※学会などに関わる年単位の費用も、1ヶ月あたりで計算してください ①1万円未満 ②2万円未満 ③3万円未満 ④4万円未満 ⑤5万円未満 ⑥5万円以上 ⑦払っていない
2-1-7 RA収入 (RA=リサーチ・アシスタント) ①3万円未満 ②6万円未満 ③9万円未満 ④12万円未満 ⑤15万円未満 ⑥15万円以上 ⑦働いていない	
2-1-8 非常勤講師収入(大学・専門学校) ①5万円未満 ②8万円未満 ③12万円未満 ④15万円未満 ⑤18万円未満 ⑥18万円以上 ⑦働いていない	2-1-9 親などからの仕送り・小遣い ①3万円未満 ②6万円未満 ③9万円未満 ④12万円未満 ⑤15万円未満 ⑥15万円以上 ⑦もらっていない

3. 生活時間

1 週間あたりの生活時間について、おおよその平均時間を教えてください。

3-1 労働時間 従事時間および準備時間の合計を記入してください。
3-1-1 アルバイト ①10 時間未満 ②20 時間未満 ③30 時間未満 ④40 時間未満 ⑤50 時間未満 ⑥50 時間未満 ⑦働いていない
3-1-2 TA ①5 時間未満 ②10 時間未満 ③15 時間未満 ④20 時間未満 ⑤20 時間以上 ⑥働いていない
3-1-3 RA ①5 時間未満 ②10 時間未満 ③15 時間未満 ④20 時間未満 ⑤20 時間以上 ⑥働いていない
3-1-4 非常勤講師 ①5 時間未満 ②10 時間未満 ③15 時間未満 ④20 時間未満 ⑤20 時間以上 ⑥働いていない
3-1-5 研究関連雑務 ※賃金にならないもの（ただし自身の研究に関するものを除く）。例えば学会や研究会の事務など。 ①5 時間未満 ②10 時間未満 ③15 時間未満 ④20 時間未満 ⑤20 時間以上 ⑥関与していない
3-1-6 以上合計 ①10 時間未満 ②20 時間未満 ③30 時間未満 ④40 時間未満 ⑤50 時間未満 ⑥50 時間以上 ⑦0 時間
3-2 研究時間 ①10 時間未満 ②20 時間未満 ③30 時間未満 ④40 時間未満 ⑤50 時間未満 ⑥50 時間以上
3-3 ゼミ・授業時間 ①5 時間未満 ②10 時間未満 ③15 時間未満 ④20 時間未満 ⑤20 時間以上 ⑥参加していない

4. 収入と支出の関係

4-1 1年間に支払っている授業料を教えてください(減免を受けている方は減免後の支払額)。

①20万円未満 ②40万円未満 ③60万円未満 ④80万円未満 ⑤100万円未満 ⑥100万円以上

※「授業料」は設備費、施設費等、大学院に所属するために支払う諸費用を含めた金額。

※実質的に授業料減免に相当する奨学金を受給している場合は、その額を引いた支払額。

4-2 今年度授業料の減免申請をしましたか。

①申請していない ②全額免除 ③50%以上の減額 ④50%未満の減額

⑤申請したが認められなかった ⑥申請したが結果待ちのため不明

4-3 授業料、調査・研究費、生活に関わる経費(授業料や研究費を除く生活に必要な支出)をどのようにまかっていますか。**複数回答可**

4-3-1 授業料 ()

4-3-2 調査・研究費 ()

4-3-3 生活に関わる経費 ()

①親・親戚の所得 ②パートナーの所得 ③奨学金 ④アルバイト ⑤自らの預貯金

⑥科研費・プロジェクト的な研究費補助

⑩ そもそも必要最低限の支出も賄っていない(学業の継続が困難)

⑪ その他 ()

4-4 労働の目的について以下で該当するものにお答えください。**複数回答可**

4-4-1 アルバイトの目的 ()

4-4-2 TA・RAの目的 ()

4-4-3 非常勤講師の目的 ()

①生活費あるいは学費(研究費を含む)を賄うため ②将来に備えた貯蓄のため

③指導教員等に頼まれたから ④自らの研究・教育キャリアのため

⑤働いていない ⑥その他 ()

II 各項目についてお聞きします。

5. 奨学金

5-1 現在の奨学金の受給状況を教えてください。

①現在奨学金を受けておらず、奨学金返済の必要もない[5-2へ]

②現在奨学金を受けている[5-3へ]

③現在は奨学金を受けていないが、過去に受けていた分の返済が未完了[5-3へ]

5-2 なぜ奨学金を受けていないのですか。

※回答後、そのまま[5-6]にお進みください。

- ①利用する必要があるため ②所得規定など申請資格を満たしていないため
③返済に不安があるため ④申請したが、採用されなかったため
⑤その他 ()

5-3 奨学金の種類。**複数回答可**

- ①日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金 ②民間の給付制 ③民間の貸与制
④学内の給付制 ⑤学内の貸与制 ⑥国費留学生 ⑦学習奨励費(私費留学生向け)
⑧その他 ()

5-4 (実際に何らかの奨学金の貸与を受けている方で)返還に対する不安はありますか。

- ①かなりある ②多少ある ③ほとんどない

5-5 貸与制奨学金の貸与総額を教えてください。そのうち日本学生支援機構奨学金の第一種、第二種それぞれの総借入額(高校・学部時代含む)も教えてください。

5-5-1 総貸与額 () 5-5-2 第一種 () 5-5-3 第二種 ()

- ①借りていない ②100万円未満 ③200万円未満 ④300万円未満 ⑤400万円未満 ⑥500万円未満
⑦600万円未満 ⑧700万円未満 ⑨800万円未満 ⑩900万円未満 ⑪1000万円未満
⑫1000万円以上

5-6 日本学生支援機構の個人情報情報機関利用(いわゆるブラックリスト化)を知っていますか。

また影響はありますか。**複数回答可**

- ①知らない ②奨学金の借入れをあきらめた ③進学をあきらめた ④借入額を下げた
⑤将来への不安が増加した ⑥民間の奨学金に変更した ⑦影響はない
⑧その他 ()

5-7 以下の制度についてご存知ですか。どうやって知りましたか。**複数回答可**

5-7-1 返還猶予制度 () 5-7-2 減額返還制度 ()

5-7-3 業績免除制度 ()

- ①知らない ②知人から ③機構の冊子「返還の手引き」から ④機構HPから ⑤その他 ()

6. 研究活動の実態

6-1 ゼミまたは私的な研究会に定期的に参加していますか。

- ①ゼミ・研究会ともに参加 ②ゼミのみ参加 ③研究会のみ参加 ④参加していない

6-2 学会活動

6-2-1 昨年一年間の学会参加回数を教えてください。

- ①0回 ②1回 ③2回 ④3回 ⑤4回 ⑥5回以上

6-2-2 国外の学会に参加していますか。

- ①はい ②いいえ

6-3 成果主義・業績主義的な風潮(論文の量産など)からくる負担感をどの程度感じていますか。

- ①強く感じている ②多少感じている ③ほとんど感じていない

6-4 日本学術振興会の特別研究員制度に過去一年間で応募しなかった方にききます。その理由はなんですか。 **複数回答可**

- ①応募した ②そのような制度があることを知らなかったため ③採用されないと思ったため
④書類作成が煩雑で時間がとられるため ⑤年齢制限を超えているため
⑥修士課程一年次に在籍中のため ⑦その他 ()

7. 研究条件に対する意識

7-1 収入の不足が研究に影響を与えていますか。もし与えている場合、具体的にどのような影響が出ていますか。 **複数回答可**

- ①影響はない ②授業料が払えない ③研究の資料・書籍を購入できない
④パソコン・インターネット環境を整備できない ⑤学会・研究会にいけない
⑥調査にいけない ⑦その他 ()

7-2 研究時間は十分に確保できていますか。もし確保できていない場合、その妨げる要因を教えてください。 **複数回答可**

- ①研究時間は確保できている ②アルバイト ③授業や研究会の多さ ④種々の雑務
⑤就職活動 ⑥非常勤・TA・RA ⑦家事・育児・介護 ⑧心身の不調
⑨その他 ()

7-3 研究環境に不満はありますか。もし不満である場合、具体的にどの点に不満がありますか。

複数回答可

- ①不満はない ②学内の研究スペースが不十分(研究室・机・本棚・ロッカーなど)
③研究・実験器具が不十分 ④図書館や教室などの学内施設が利用しにくい(利用時間や利用資格)
⑤PC・ネット環境の不備 ⑥必要な資料・書籍が学内に少ない ⑦指導教員との関係
⑧その他 ()

8. 大学院生活の不安材料

8-1 大学院での研究・生活上および将来の懸念(不安)を教えてください。 **複数回答可**

- ① 生活費・研究費の工面 ②授業料の工面 ③研究の見通し ④研究条件の悪化
⑤ 奨学金の返済 ⑥就職状況 ⑦人間関係(ハラスメントなど) ⑧失業、雇い止め
⑨人生設計(結婚・出産・育児など) ⑩特になし ⑪その他 ()

8-2 あなたにとって必要な就職支援は、大学院で十分に行われていますか。

- ①行われている ②行われていない ③わからない

8-3 博士課程へ進学する上での懸念材料を教えてください。**複数回答可**

※修士課程在籍の方のみ回答ください。

- ①経済上の不安 ②就職状況 ③研究の見通し ④特にない ⑤進学しない
⑥その他 ()

Ⅲ 自由記述

最後に、現在あなたが直面している研究・生活上の問題や、院生の経済状況に関するご意見、あるいは奨学金事業を含む教育行政へのご要望などを、自由に書いてください。直面している問題があれば、できるだけ具体的に書いてください。なお、本アンケートに関しても、ご意見があれば書いてください。全院協では、これまであまり実態の把握ができていなかった専門職大学院やPDについても、今後は、実態を把握できるよう努めていきたいと考えています。そのため、上記についてご意見がありましたら、ご記入頂けましたら幸いです。

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

なお、アンケート結果につきましては、11月頃までに報告書としてまとめられます。

アンケート報告書はブログ(表紙参照のこと)にアップロードされる予定です。